

## 練馬区教育委員会と東洋大学文学部教育学科との協定書調印について

### 1 目的

練馬区教育委員会と東洋大学文学部教育学科の学校教育の一層の充実と学生及び児童の資質の向上を図るため、相互の人的資源の活用により往還型教育実習を行うことを目的とする。

※ 往還型教育実習…4年生の教育実習に向けて、1年生から4年間を通じて学校教育現場を体験する実習形態

### 2 内容

#### (1) 往還型教育実習の概要

東洋大学文学部教育学科の学生を練馬区立小学校の複数校に配置し学生の教職研修を行うもの。大学1年生の後期から配置校の学校見学を開始し、大学2年生及び3年生では配置校において実習を行い、それぞれ2単位ずつの単位認定を行う。

4年生については可能な限り配置校において教育実習を行い、4単位の単位認定をする。

#### (2) 実習生の配置

東洋大学が本区と協定書を調印し、学生を毎年度8～9人ずつ配置する。

#### (3) 今後の予定

年度	1期生 (50人)	2期生 (50人)	3期生 (50人)	4期生 (50人)
平成20年度 受入校2校	入学 1月以降観察実習(2～3回)			
平成21年度 受入校4～6校	初等教育実践研究A(年間で半日を30回程度)	入学 10月以降観察実習(2～3回)		
平成22年度 受入校6～8校	初等教育実践研究B(年間で半日を30回程度)	初等教育実践研究A(年間で半日を30回程度)	入学 10月以降観察実習(2～3回)	
平成23年度 受入校 8～10校	初等教育実習	初等教育実践研究B(年間で半日を30回程度)	初等教育実践研究A(年間で半日を30回程度)	入学 10月以降観察実習(2～3回)

#### (4) 平成20年度受入校

上石神井小学校、上石神井北小学校

### 3 協定書の調印

平成21年1月6日、東洋大学の山田利明副学長、大森正初等教育専攻主任、宮崎英憲教授が来庁し、菌部俊介教育長との間で協定書に調印した。



調印後握手を交わす菌部教育長と山田副学長